

特定非営利活動法人日本障害者スキー連盟

2021年度 第4回理事会

議事録

日時：2022年6月25日（土）16：00～17：40

場所：リモート開催

出席者：椎名茂、古市隆一、保科実、鈴木久三郎、隅野礼雄、大日方邦子、安藤佳代子、夏目堅司、二星謙一、渡辺孝次、山口聖子、岩間秀子、桜本利幸、東海林志朗、狩野亮、鹿島（吉龍）忍、石原勝広、小林（井口）深雪、小林清美、田原麗衣、井上真司、辻村和見、（22名）

委任出席者：荒井秀樹、高浜成行（2名）

欠席者：中村勝彦、中村実彦、新田佳浩（3名）

欠席監事：大内智、宮田隆司（2名）

椎名会長のweb環境が思わしくないため、古市副会長より定足数の確認がなされ、27名中出席24名（委任状出席を含め）であり、定足数を満たし本会は成立するとの発言がなされた。議事録署名人には、古市副会長、隅野理事が指名され了承された。書記には、事務局の石丸が指名された。

古市副会長より次第の確認がなされ、定款の則り議長は会長が行うことが確認され会議が開始された。

【審議事項】

（1）令和4年度の強化戦略プランについて

大日方：強化戦略プランの概要についての説明を行った。中長期計画策定のためのもので1年毎に更新します。常任理事会・理事会の機関決定、承認が必要となります。委員長とヘッドコーチが起案して、チーム間でクロスレビューし連携して作成したものです。

渡辺：パラノルディックチームの強化戦略プランについて説明。

二星：パラスノーボードチームの強化戦略プランについて説明。

夏目：パラアルペンチームの強化戦略プランについて説明。

各チームより、ターゲット選手、4年後・8年後の目標、強みや弱みの分析からの戦略方針、他国の選手との比較、育成やパスウェイの検討等を行った上で作成した強化戦略プランであることの説明が行われました。

議長：パラ3チームの強化戦略プランについて承認を求めたところ全員一致で承認された。

（2）表彰規程の新設について

石丸：普及委員の平野さんの引退をきっかけにして、今まで表彰に関する規程がなかったので、作成しました。

議長：表彰規程の新設について承認を求めたところ全員一致で承認された。

(3) 強化指定選手規程の一部改訂について

保科：誓約書に規定されていることを遵守しない選手は、理事会の審議を経て強化指定選手から外すことが出来るようにと考え、第5条1項11号に追記を行いました。また誓約書に押印だけでなく電子署名も可能にするように修正しました。

議長：強化指定選手規程の改定について、承認を求めたところ全員一致で承認された。

(4) 法人カード利用者申請について

夏目：ID-AS チームのトレーナーの加藤さんが8月より今迄以上にチームとの関わりが多くなり個人立替を回避するため、法人カードの利用が出来るようにしたい。

東海林：自分の使っていたカードを返還して代わりに加藤さんに持ってもらいたい。

大日方：個人立替は避けたいので、2人に持ってもらいたい。

議長：ID-ASの加藤さんに法人カードを発行することについて、承認を求めたところ全員一致で承認された。

(5) 総務委員会と選手委員会の委員推薦について

保科：セールスフォース社所属で連盟の事務効率アップのためのシステム開発に携わってもらっている児島さんを総務委員に推薦したい。

石丸：新田選手委員長から、SBの岡本選手、NSの有安選手、ASの本堂選手を選手委員会の委員に推薦したいとの話がありました。

狩野：新年度に向けて、現メンバーと新メンバーで引継ぎ中です。

議長：総務委員の児島さんと選手委員の岡本さん、有安さん、本堂さんを委員にすることについて、承認を求めたところ全員一致で承認された。

(6) AS-PHの次世代育成選手の推薦について

夏目：塚原心太郎さん（チェアスキー選手）を年度途中7月1日から次世代育成選手に推薦します。

7月の合宿から参加してもらいたい人材です。野沢のジャパンカップでは前走で滑ってもらいました。

議長：塚原さんをAS-PHの次世代育成選手にすることについて、承認を求めたところ全員一致で承認された。

(7) 役員等候補者選考委員会の委員について

古市：次期の連盟の役員改選について、役員候補者を選考するための委員会の設置が必要です。規程上役員2名と正会員3名で委員会を構成します。役員から椎名さんと保科さん、正会員から事務局の石丸とスポンサーからウイングアーク社の内野さんとあともう一人を誰にするかを検討いただきたい。

椎名：COOPの近藤さんはどうでしょうか。意向を確認してみます。

古市：その委員会の委員長は椎名さんをお願いしたいと考えています。

議長：役員等候補者選考委員会の委員について、役員から椎名、保科、正会員から石丸、内野、近藤の5名を委員とし委員長を椎名にすることについて、承認を求めたところ全員一致で承認された。

(8) ダイバーシティ研修会について

鹿島：研修の概要と目標、ゴールについて説明が行われた。対象者は役員・選手・スタッフ・事務局員で7月14日19:30から実施します。自己研鑽のために開催するので任意参加にします。

椎名：選手・スタッフには極力参加してもらうようにしてください。

議長：ダイバーシティ研修の開催について、承認を求めたところ全員一致で承認された。

(9) 公益財団法人化に向けた内閣府への申請について

古市：新しく依頼したアドバイザーの協力を得て、申請に必要な準備がほぼ出来ました。2021年度内に申請手続きを進めたいと考えています。

椎名：申請してから認定されるまでの期間はどのくらいですか。

古市：申請してからいろいろな指摘が内閣府からあるようなので、早くても3か月以上は掛かると思います。

議長：公益化の申請を内閣府へ行うことについて、承認を求めたところ全員一致で承認された。

(10) アンチ・ドーピング委員会の研修会予算について

岩間：WADAの規程改定がありエデュケーター制度実施のための研修会が行われます。SBチームの東山さんに参加してもらうための旅費(5万円)を予算化してほしい。6月に申込を行いました、実施は8月です。

古市：研修会の実施が8月なら新年度の予算として申請してください。

議長：この件は、承認案件ではないことの確認を行った。

(11) 引退による強化指定選手の取消について

石丸：SBチームの田淵さんから引退届が4月始めに提出されました。取消は理事会での承認事項なので、審議をお願いします。

議長：田淵さんの強化指定選手の取消について、承認を求めたところ全員一致で承認された。

(12) ID-AS 次世代育成選手について

夏目：工藤祐輔さんを次世代育成選手に推薦します。東海林さんにも滑りを見てもらっています。VIRTUS登録が可能な障害程度であることが確認できました。

議長：工藤選手を次世代育成選手にすることについて、承認を求めたところ全員一致で承認された。

【報告事項】

(1) 北京パラリンピックの総括について

夏目：北京前の練習不足の影響が結果に出てしまった。また、テスト大会がなかったこともあり北京のコースの斜度や硬いバーンに対応するのが難しかった。その中でも DH と SG で村岡選手と森井選手が、好成績を残してくれた。技術系ではバーンコンディションが変わった中でチーム全体でサポート出来た結果、村岡選手の GS での逆転の金メダルを獲得が出来た。本堂選手はメダルこそ逃したものの、全種目入賞を果たした。課題は男子立位で高年令化に歯止めをかけなければならない。

二星：メダルなしで終わってしまった。テクニカルセクションが得意であったが、北京のコースは単純なセクションが多く、体重差が結果に出てしまった。天候が悪く練習がキャンセルになったことは残念であった。WAX は地の利のあった中国チームに有利に働いた。日本代表選手 6 名の選手の内 5 名が入賞出来た。

渡辺：風に影響された部分が大きかった。WAX チームはテスト大会がなかったので 3 名で臨む予定が 1 名コロナで北京へ行けず 2 名での対応になった。S ランクの新田選手と川除選手が活躍した。3 月 7 日のクラシカルロングに照準を合わせてその通りに結果を出してくれた。

ロシアが不参加だったが、参加していても川除選手は勝ったと分析しています。直前の湯の丸合宿での高地トレーニング（標高 2016M）で林道にコースを作って練習した効果が出たと思っています。選手はベテランが多く、若手の育成が課題です。

(2) シーズン報告会と 2022 年度スポンサーについて

隅野：6 月 14 日日本財団ビル 2 階でリアル参加で開催しました。コロナ対策で大会議室だけでなく選手には控室を利用してもらったりして運営しました。

スポンサーについては、新規の契約はないものの既存の企業からは、継続して契約してもらうことになっています。

椎名：コロナ禍においては、良い報告会が出来たと思っています。

(3) 22-23 シーズンの普及委員会の事業予定について

安藤：22-23 シーズンの事業予定について、資料に沿って説明が行われた。

大会 4 事業、講習会 9 事業、その他普及振興事業や VI 向け事業を予定しています。

(4) 22-23 シーズンの競技大会本部の事業予定について

保科：今回初めて ID-AS と ID-NS 合同大会を札幌で 2 月に開催します。2030 オリパラ招致と VIRTUS 世界選手権の札幌開催を念頭に札幌市の協力を得るように動いています。ジャパンパラについては、2 月に菅平で開催予定。

3 月に開催予定であった WPNS の WC をコンチネンタルカップに変更しウクライナ選手を招待して親善試合にします。アジアの国からも選手を呼ぶ予定です。クロスカントリーのみで白旗山で開催。市民との交流イベントも行います。

WPAS レースを4月の野沢で実施予定。

夏目：2月の菅平のレースは日程は流動的で、レース数も少なくなる可能性があります。

井上：菅平が混んでいて、思ったように日程が組めないのが実情です。

【その他】

* 次回の理事会の日程について

石丸：理事会を7月23日に予定していたが、東京オリパラ1周年記念事業がその日に開催され役員の内、数人がそのイベントに参加するため7月24日に変更したい。
次回の理事会では、2022年度の各本部・委員会の事業計画と予算申請、連盟の予算、2022年度の強化指定選手選考基準と強化指定選手の選定が主な審議事項になります。

議長：以上で全ての審議・報告等の議事が終了したので閉会します。

2022年6月25日

議事録署名人

議長 椎名 茂

議事録署名人 古市 隆一

議事録署名人 隅野 礼雄